

## 西暦2022年8月～2024年7月に裂孔原性網膜剥離に対して

### 初回の手術治療を受けられた方へ

「裂孔原性網膜剥離に対する気体網膜復位術の有用性の検討」へのご協力をお願い

#### 1 研究の概要

##### 【研究の背景・目的】

裂孔原性網膜剥離に対して行われる手術治療は、手術費用が高額で、長期間の入院加療を必要とするなど負担の大きい治療であることが問題です。この研究の目的は、裂孔原性網膜剥離の患者さんに対して、比較的負担の少ない治療法である気体網膜復位術の有用性を明らかにすることです。

##### 【研究の対象となる方】

2022年8月～2024年7月の2年間に当院を受診し、裂孔原性網膜剥離に対して初回の手術治療を受けられた患者さんを対象とします。

##### 【研究期間】

この研究の実施を許可された日から西暦2026年3月31日までです。

ご自身またはご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使ってほしくない場合は、2025年3月31日までにご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から取り除きます。ただし、すでに個人が特定できない状態に加工されている場合等には、あなたの情報を取り除くことができません。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下のWebサイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆様へ”】

URL : <https://ncu-cr.jp/patient>

#### 2 研究の方法

この研究では、研究対象の方の診療情報を電子カルテから収集して利用します。データを取りまとめ、解析を行います。提供された情報は、名古屋市立大学が責任を持って管理します。

### 3 この研究で用いるあなたの試料・情報の内容について

この研究では、あなたの情報と裂孔原性網膜剥離に対して手術治療を受けられてから1年後までの、以下の診療情報を利用します。

- ・年齢、性別、実施した術式
- ・手術前の視力、術後1週間から1か月後の視力、術後最終観察時点での視力
- ・入院期間
- ・追加治療の有無とその種類

### 4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学が単独で実施します。

研究責任者：医学研究科視覚科学 平野 佳男

### 5 個人情報等の取り扱いについて

あなたの情報は、氏名等の個人を特定する内容を削除し、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、その際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

### 6 この研究の資金源および利益相反について

この研究は企業等からの資金の提供はありません。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

### 7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお渡ししたり、お見せしたりすることが可能です。

また、この研究にあなたの情報が利用されることや、他の研究機関へ提供されることを希望されない場合は、電話によりご連絡ください。

#### 【連絡先】

名古屋市立大学大学院医学研究科 視覚科学

電話番号： 052-853-8251

(対応可能な時間帯) 平日9時から17時まで

対応者： 氏名 平野 佳男